

## ⚠️ 古いコンデンサにご注意ください ⚠️

1975年以前に製造された**低圧進相コンデンサ**に起因する火災が全国的に発生し、交野市内でも発生しています。

設置例



**低圧進相コンデンサ**とは業務用冷蔵庫やモーター等を使用する電気機器の力率を改善し、電力の無駄を省く機器で、工場、作業場等で多く使用されています。

低圧進相コンデンサは、分電盤や配電盤の近くに取り付けられています



低圧進相コンデンサは便利な省エネ機器ですが、燃えることがあります

出火した低圧進相コンデンサ



焼損箇所



焼損したコンデンサ

なぜ燃えるのだろう



**1975年**以前に製造された低圧進相コンデンサには保安装置がついていないため、長年使用していると内部が劣化し、ショートを起こして出火する可能性があるのです。



さいごに

低圧進相コンデンサは一般的な電気機器と違い、進相コンデンサ自体が動かなくなるなどの症状がみられないため、劣化や故障が分かりにくく、また、回路上の機器を使用していなくてもメインブレーカーを切らなければ電圧が常時かかっており、夜間、早朝など機械が稼働していない時、その場に人がいない時でも出火する危険性がありますので、お気をつけください。また、一般社団法人日本電機工業会の低圧進相コンデンサについてのページがありますのでこちらもご覧ください。

<https://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/condenser.html>